

2023年11月30日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連、観光関連が回復している。一方、投資関連、雇用情勢は横ばい、生産活動が低調、畜産関連が低迷している。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇や電子部品関連の在庫調整の影響が見られる。

生産活動は、8月の鉱工業生産指数が14か月連続で前年を下回った。食料品は前年を上回ったが、窯業・土石製品、電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回った。

畜産関連では、10月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を下回った。また豚肉、ブロイラーもも肉相場も前年を下回った。一方、ブロイラーむね肉、鶏卵相場は前年を上回った。

個人消費関連は、9月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額、乗用車新車登録台数、10月の軽自動車届出台数はいずれも前年を上回った。

観光関連では、10月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、10か月連続で前年を上回り、種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を上回り、奄美地区は2か月ぶりに前年を下回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、民間建築工事費予定額は前年を上回ったものの、公共工事請負金額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、9月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.20倍となった。

【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の勢いに鈍化が見られ、スマホ向けなど一部で在庫調整の動きが続いている。

9月の焼酎生産は、ほぼ前年並みで、出荷量は2か月ぶりに前年を下回った。

7月のかつお節生産は、10か月連続で前年を上回った。

10月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが2か月連続で前年を上回り、民間工事向けは2か月ぶりに前年を下回り、全体では0.4%減とほぼ前年並みだった。

10月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 低迷

10月の子牛の出荷頭数はほぼ前年並みで、価格は前年を下回った。10月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4が11.2%減と12か月連続で前年を下回り、去勢A3は13.6%減と14か月連続で前年を下回った。9月の枝肉生産量は前年をやや上回った。

10月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は9.0%減と10か月ぶりに前年を下回った。9月の枝肉生産量は前年を下回った。

10月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は6.1%減と2か月連続で前年を下回り、むね肉は0.5%増と45か月連続で前年を上回った。10月の処理羽数はほぼ前年並みとなった。

10月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は18.4%増と14か月連続で前年を上回った。9月の配合飼料価格は3か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... 回復

9月の百貨店・スーパー販売は、衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では24か月連続で前年を上回った。

9月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアのいずれも前年を上回った。

9月の乗用車新車登録台数は、9か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は29.5%増、小型車が14.5%増となった。

10月の軽自動車届出台数は3か月連続で前年を上回った。

【観光関連】... 回復

10月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、国体開催などで、10か月連続で前年を上回った。関西、北陸、四国、関東、東北、中部、台湾、香港、中国などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加した。

鹿児島地区は、東北、中国などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、15か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関西、関東、北陸などからの入り込みや団体客が増加し、10か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関西、関東などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、10か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を上回り、奄美地区は2か月ぶりに前年を下回った。

10月の主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】... 横ばい

10月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

9月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額のいずれも前年を上回った。

9月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回り、全体では2か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、6.9%減となった。

9月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、4か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を下回った

9月の輸出額は、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回ったものの、再輸出品、パルプ及び古紙が前年を下回り、全体では75.1%減と7か月連続で前年を下回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を下回り、全体で16.4%減と4か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 横ばい

9月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.20倍となった。県内求人数を業種別にみると、卸小売は前年を上回り、製造業、建設業、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

9月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.1%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

10月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が7件で前年同月（3件）を上回った。また負債総額は2億97百万円で前年同月（91百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)